

第6回 黒部市未来会議

くらしの足・地域の移動のあり方

日時: 7月31日(月) 18:00~20:00

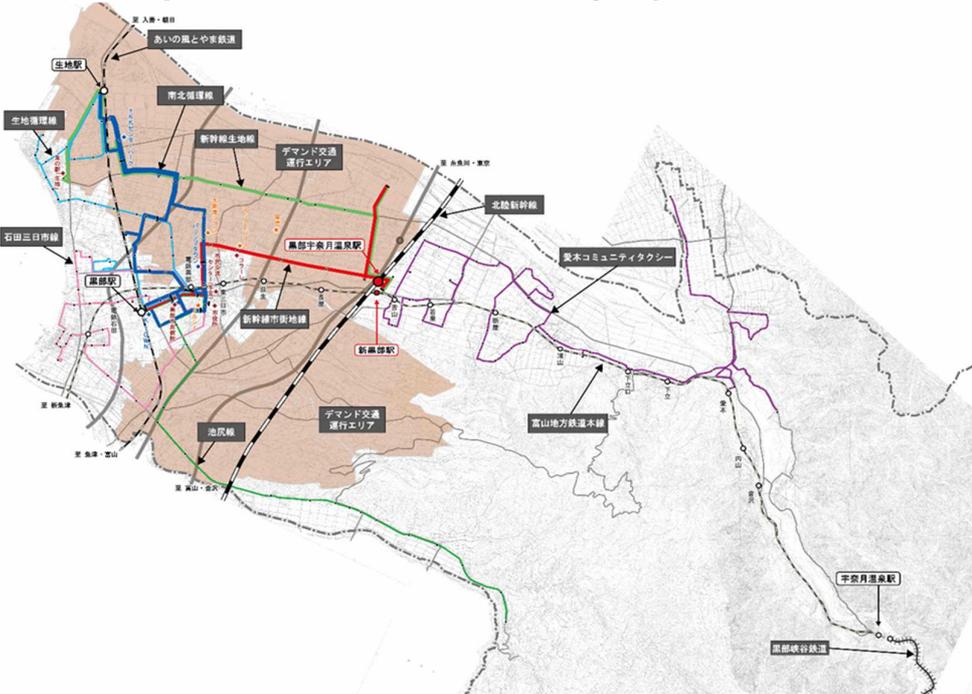
会場: 黒部市役所2階 201~203会議室

テーマに関する市からの話題提供

- 1 黒部市の公共交通の状況
- 2 運転免許自主返納に対する市の支援制度
- 3 新たな移動手段 (先進事例)

黒部市の公共交通の状況

黒部市の公共交通の概要



【鉄道】

- 北陸新幹線
- あいの風とやま鉄道
- 富山地方鉄道

【路線バス】

- 新幹線市街地線
- 新幹線生地線
- 生地循環線
- 石田三日市線
- 池尻線
- 南北循環線
- 愛本コミュニティタクシー

【デマンドタクシー】

市内の主な移動手段の種類

輸送力	移動手段	利点	制約	主な事例
高	普通鉄道	短時間で多くの人を長距離輸送できる	専用線路が必要になり、維持管理費が多額になる。運行時刻、乗降駅による制約を受ける	あいの風とやま鉄道 富山地方鉄道
高	路線バス	短時間で多くの人を長距離輸送できる	運行時刻、乗降バス停による制約を受ける	新幹線市街地線 新幹線生地線 南北循環線 など
中	コミュニティバス	短時間で一定の人数を地域内で輸送できる	運行時刻、乗降バス停による制約を受ける	石田三日市線 愛本コミュニティ タクシー
小	予約式乗合 (デマンド) タクシー、バス	予約式のため、事業者側の負担が軽減できる	予約式ではあるが、運行時刻の制約をうける	デマンドタクシー

【輸送コストの比較】



黒部市と市内公共交通の現状

【黒部市の人口】

- ・ 今後、緩やかに減少傾向（高齢化率も増加傾向）

【各公共交通機関の利用状況】

- ・ コロナ禍による利用者数の激減

【まちづくりの現状】

- ・ 立地適正化計画による都市機能の集約
- ・ 道の駅「K O K O くらべ」の開業
- ・ パッシブタウン、Kタウン、Iタウンの整備等

【今後のまちづくりの動き】

- ・ くらべ市民交流センター「あおーよ」オープン
- ・ 黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放



市内公共交通における主な課題

- ①公共交通網の維持・さらなる利便性向上
- ②新幹線効果の持続と新たなまちづくりへの対応
- ③将来的な公共交通網の持続に向けた対応
- ④公共交通のさらなる利用促進



- 鉄道を軸とした公共交通の維持と効率化
- 公共交通を身近に感じる機会づくりと利用する習慣づくり

地域公共交通網形成計画での基本方針

基本方針① 鉄道を軸とした公共交通網の維持

基本方針② 公共交通網を支える潜在的需要の開拓

基本方針③ 公共交通網の持続に向けた運行体系の確立

基本方針④ 新幹線効果の維持・向上

基本方針⑤ 利便性と魅力を高める公共交通環境の提供

基本方針⑥ 「コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり」の推進

運転免許自主返納の対する市の支援制度

運転免許自主返納制度

黒部市民の方で支援対象となる方

運転免許を自主返納された時の年齢が満65歳以上の方



+

有効期間内にすべての運転免許を自主返納された方

支援メニュー

希望者全員に

市内バス7路線で使える!!

無期限有効のフリーパスを交付

フリーパスが利用できる路線

- 新幹線市街地線
- 新幹線生地線
- 生地循環線
- 石田三日市線
- 愛本コミュニティタクシー全線



- 池尻線
- 南北循環線

+

さらに下記メニューより、いずれか1つ選べます(1回限り)

- ① 黒部市内タクシー業者のタクシー利用券…………… 1.5万円分
- ② 富山地方鉄道ICカード【ecomyca】…………… 1.5万円相当
- ③ 富山地方鉄道ゴールドバスの購入費助成……………(上限1.5万円)
- ④ 電動補助機付自転車の購入費助成……………(上限1.5万円)
- ⑤ デマンドタクシー回数券の購入費助成……………(上限1.5万円)

※掲載情報は、令和5年3月現在のものです。

運転免許自主返納制度

満65歳以上の方が支援を受けるには手続きが必要です!

その1

黒部警察署または
運転免許センターで免許返納

運転免許を自主返納して

運転免許取消通知書 と
運転経歴証明書(※) を受け取ります

※申請は任意です。申請する場合は手数料1,100円が必要です。

問合せ先 黒部警察署
TEL 0765-54-0110

その2

黒部市役所で
支援手続きをします

手続きに必要なもの

★運転免許取消通知書
★運転経歴証明書のコピーまたは返納した
運転免許証のコピー

※支援メニューの詳細はお問合せください。

問合せ先 黒部市 市民環境課(交通防犯係)
TEL 0765-54-2501

さらに
耳より
情報!

免許返納+「運転経歴証明書」で電車・鉄道、バスが割引に!

富山地方鉄道全線、
地方路線バスの普通運賃が半額

問合せ先 富山地铁テレホンセンター
TEL 076-432-3456

あいの風とやま鉄道の
普通運賃が半額

問合せ先 あいの風とやま鉄道
TEL 076-444-1300

福祉施策による移動支援

1. ふれあい福祉券 (移動支援に関する部分を抜粋)

(1) 70歳以上の方 (当該年度の4月1日現在) に交付

ただし、(要介護1~5と認定された方、身体障害者手帳・養育手帳・精神障害者保健福祉手帳(以下「手帳」という)の交付を受けている方) の交付を除外。

(2) 利用可能なサービス

- ・電車 (富山地方鉄道本線)
- ・法人タクシー (桜井交通・くろべ交通・宇奈月交通)
- ・バス (新幹線市街地線、生地循環線、池尻線、石田三日市線、新幹線生地線、南北循環線)
- ・相乗りタクシー (愛本コミュニティタクシー、デマンドタクシー)

(3) 交付枚数

・30枚 (1枚につき100円の割引) / 一会計年度 【一他のサービスにも利用できる分を含めた枚数】

(新幹線生地線: 1日フリーきっぷ購入(500円分)に福祉券5枚の利用可能。
富山地方鉄道(電車・バス): ICカードに1,000円単位でチャージ可能。
法人タクシー: 1回につき10枚(1,000円)まで利用可能。

2. 高齢者向け割安全線定期券購入費補助 (対象: 富山地方鉄道が販売する高齢者向け定期券)

70歳以上の方、補助額: 2,000円~10,000円 (定期券の種類と有効期間による)、上限10,000円/人 (一会計年度)

※この他、重度要介護者、手帳交付者には、別の移動支援補助(扶助)あり。

新たな移動手段（先進事例）

地域交通における新たな移動手段の例

輸送力	移動手段	事業種別	概要	県内の主な事例
小	予約式乗合 (デマンド) タクシー、バス	一般乗合旅客自動車 運送事業 など	事業者が自治体と連携して、 利用者の希望に応じて乗合式 で運行する	チョイソコおやべ (小矢部市) など
小	グリーンスロー モビリティ	一般乗合旅客自動車 運送事業 など	不特定の利用者に対して、時 速20km未満の専用車両を使用 し、小規模な範囲を運行する	べいぐるん (射水市) ブルバース (富山市) など
小	乗合車両	自家用有償運送 (交通空白地 有償運送)	バス・タクシー事業が成り立 たない地域で、市町村等が必要 な安全措置を取ったうえで、 自家用車で運行する。	ノッカルあさひまち (朝日町)

AI オンデマンド交通「チョイソコおやべ」

- ・ AIを活用した区域運行型のオンデマンド交通
- ・ 複数の利用者の目的地と到着時間を、運行システムにより計算し、複数の方が乗り合わせた上で目的地まで送迎する。
- ・ 利用者の希望に近い時間帯にあわせて送迎ができ、さらに乗り合わせを考えて運行することで多くの方が利用可能となる。

決まった路線や時刻表なし

運賃

1回400円
(高齢者半額)

会員登録制

予約制

乗車1時間前
まで

グリーンスローモビリティ「べいぐるん」

【運行内容】

- ・ 運行エリア内にある67カ所の停留所間を予約に応じて運行（デマンド運行）
- ・ 港町風情漂う内川周辺をぐるっと一回りする（おすすコース運行）

【運行車両】

- ・ 電気三輪自動車2台
- ・ 乗車定員／4人（運転手除く）
- ・ 最高速度／19km/h

高齢者の外出機会の促進
観光客の回遊性の向上

運賃

1回200円

予約制

乗車30分前
まで

自家用有償運送「ノッカルあさひまち」

- ・ご近所さんのマイカーでの移動を活用した新しい公共交通
- ・毎月決まったダイヤで運行しており、ご近所付近の停留所から目的地まで直接行くことが可能
- ・子どもの送迎課題に焦点を当てた「こどもノッカル」も実証実験中

- ・住民の日常的な車移動も貴重な輸送資源
- ・運転手もご近所さん

運賃

1回600円
乗合の場合は400円

会員登録制

予約制

前日17時まで

○. 福祉による共同運行バス実証実験

一般社団法人 SMART ふくしラボ

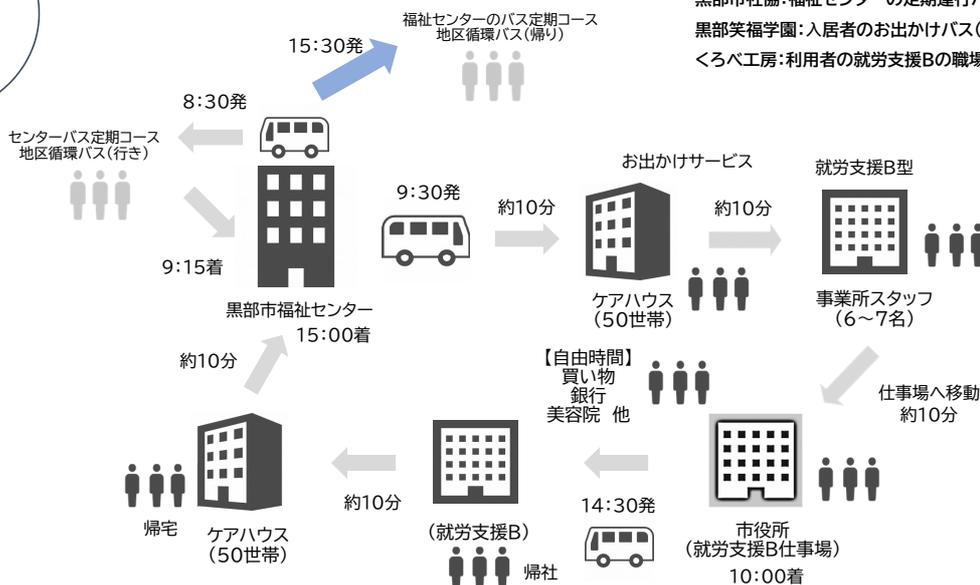
黒部市内3法人(+SMARTふくしラボ)における共同運行乗り合いパターン実証

移動リソースの共有化

Step1.
3法人において、それぞれ目的が違う車両運行において、時間、と人員の無駄をなくし、効率的に移動ができるかを検証

【実施内容】

黒部市社協:福祉センターの定期運行バスの空き時間を活用
黒部笑福学園:入居者のお出かけバス(自主事業)の代替運行
くろべ工房:利用者の就労支援Bの職場への移動



2022年度はトヨタモビリティ基金の助成を受け調査研究を実施

2023年度SMARTふくしラボ主体での実証実験 4法人での共同運行(実験)協定締結

